

蘇南中だより



自己を生かす生徒
助け合い励まし合う
知恵を働かす
たくましくやりぬく
令和5年10月1日発行

続けて頑張ることが自信につながる ～笑顔の"もと"～

校長 今井 竜生

今年の県大会で活躍し、東海大会へ出場した水泳部のメンバーが、8月21日教育長さんへの報告の会に参加しました。県大会での成績や自分が出場した種目の説明をしました。やり取りの話の中で、どの子も小さい時から水泳を始めていたことがわかりました。教育長さんから「水泳を小さい頃からがんばってきてどんなよさがありましたか？」という質問があり、次のように答えていました。

- ・大人の人や周りの人とのコミュニケーションが取れるようになった
- ・学校の友達以外にも仲間がつくれた
- ・体力の面で、持久力が身に付いた
- ・みんなから水泳やがんばったことをほめてもらった
- ・厳しいこと辛いことに対して「耐える」力がついた

これは、それぞれの『笑顔のもと』になっています。

個々の話をする場を設けていただいたおかげで、生徒たち自身が自分を振り返ることができました。そしてこれまで取り組んできた努力や周りの人の支えが自信につながっていることに気づくことができました。蘇南中には、紹介した人たち以外にも日頃から継続した取り組みを進めている人がいます。粘り強く取り組んでいることは自分の自信になり、『笑顔のもと』になると思います。



「前期の宝物を後期の活動に活かそう！」

10月6日(金)前期の終業式を迎え、10日(火)から後期が始まります。

前期に仲間と創り上げてきた学級・学年の宝物をぜひ後期にも活かしてほしいと願っています。それぞれが自分の役割をもち、やる気で取り組んでいくことが学級全体の力になります。すでに、後期の大きな行事「音楽会」に向けての取り組みも始まっています。学級の目指す姿に向かってがんばっていきましょう。

保護者の皆様には、前期の教育活動に対しご理解ご協力いただき、ありがとうございました。後期のお子さんの活躍を楽しみにしていただくとともにご支援をよろしくお願ひします。



一年生 自然体験学習



二年生 職場体験



三年生 修学旅行Ⅱ